

*当日資料に加え、後記と共有ポイントとなったことは赤字とします。

参加者11名、津市大三公民館和室、マインドフルネスリラクゼーションで和やかにスタート。

雑談

匂いや風景に、記憶が呼び戻されるってことありますよね。
はっきり思いだせることもあるし、何かモヤモヤと混乱する時もあります。
先日、芸術祭上演作品冒頭で、深〜い森の中で記憶が浮遊しているといった舞踊の創作をしていて、その夜は頭の中の引き出しが混乱しているようでした(^;)不思議です。

本日の内容

1. ここ一か月ほどの間で『ほ〜・・・』とか『ひゃ〜・・・』とか『ふ〜ん』とか、自分に驚くようなことがあったなら、教えて!(^)!雑談会。
2. 9月10月の活動報告
3. 芸術祭内容の報告とお願い事項
4. 次年度の予想と意見交換(時間があったら(^)!)



1. 雑談会・・・最近自分に驚いたこと。
 「本屋で日本の原点となる自然崇拜といった本に手が伸びる自分。」
 「夜の救急車のサイレンが増えているようで不安に思う自分。」
 「子育て支援センターでフッと子育てについて考える自分。」
 「切羽詰まったときの自分の感情。」
 などなど・・・などなど、それぞれの話を聞きながら、たくさんの日常があることに会う。今日のミーティング内容とリンクするものもあって、ミーティング前にチョットしたリラックスやそれぞれの日常の共有といった余裕時間が大切だな!!と思いました。
 (^)!

2. 活動報告、共有したいこと。

【子ども里山自然体験教室終了しました。】・・・・・・・・・・・・・・・・

田んぼと遊ぶ(10/4、米じいじ<寛さん>の自宅に招いてもらい、収穫・炊飯・田んぼ遊びをしました。)

鈴木牧場珠の牧での活動を以下に取り上げてみます。(7/23. 8/30. 9/21. 10/11)

～ 仕事と遊びと題した4回連続活動の、意図せず集大成となった牧場の看板づくり。～





(感想伝達) 子どもたちは上手に大人の目を盗み遊びながらやるべき時には役目を果たしていた。ちょっとした失敗に、個人の不安を言ったり、他人の上げ足をとるようなことも全くなかった。各年齢なりにたのしんで作業をしていたんだと思う。自分を自分で楽しませることからは余裕が生まれ他人を許せるおおらかさを持つのかもかもしれない。

自分の意見を持つということは、ある時年齢や何かに関わらず同じラインで話ができる気持ちのいい時間だった。

素晴らしい看板が完成し、みんな誇らしい顔をして看板の裏に自分の名前を書いていた。

素晴らしい看板ができた理由は、鈴木ファミリーが大きな夢を抱いて日々試行錯誤を繰り返している時間がそこにあったからだと思う。

鈴木ファミリー、子ども達、森劇の大人たち、山、牛が持ちつ持たれつだったのではないかな？

これは、計画を練って得られるような経験ではない。ここに居られたことに感謝した。

この活動の隊長！さんより、自分の想像をおぼろげに共有しながらカタチになっていくまでの経過の話があった。参加していない人には共有できないことと、こういった場で空想しながら共有できることがある。活動報告ってこういった空想の中での共有がその人への理解になったり、間接的に次の活動計画に溶け込んでいくような気がした。

◆◆ 自然体験教室から共有確認 ◆◆

(^)/

(コーディネートとして慣れず感じていたいこと)・・・次年度、コーディネーターに興味ある人募集!

- ◆森劇のコンセプト、なるべく教えない＝言葉で知るのではなく体感することをたのしむ。の重要性。
綺麗、美しい、可憐、汚い、醜い、気持ちいい、気持ち悪い、かわいい、寂しい、嬉しい、面白い、つまらない、疲れた、元気が出てくる・・・・・・・・・・に体感が肝心。体感の積み重ねが自信になる。
- ◆子どもの体力を見くびらない。＝限界を大人が決めない。 子どもに限らないけれど限界を超えたとき本領が顔を出す。
- ◆なるべくプログラムを臨機応変にしておいて、興味が湧いたら少し納得いくまではとどまれるように時間に余裕を持つ＝往々にしてなんでもないことに興味が湧く。
- ◆できる！できない！とか、よいこと！よくないこと！、正しい！間違っている！といった区分けはまずしない。遊びは原則無意味無目的です。＝勝手に評価しない。
- ◆可能なら、連続講座がよい。＝その空間でどんなことが起きているのかカラダを通して理解するには時間がかかる。
- ◆◆ 受け入れてくださる自然との営みを持っている人や空間にとって、長い目で見て良い活動と判断できるかどうか？ また、子ども達にとってどうなのか？ 将来の社会にとってどうなのか？そして最も大切！！自分は何がしたいのかな？の意識を忘れないこと。・・・未来の予測・・・市民文化政策。
- ◆◆ スタッフ同士、意見交換の場を毎回持つこと、情報を共有し合うこと。(想いや行動を理解し合う。)重要事項は、保護者との意思の疎通を図ること＝大人同士のコミュニケーション・協力体制が、大きく子どもに影響する。

【大人も里山そうそう学校：山の風 club】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(現状報告)

10/10の練習が台風で休みとなり、直の練習場で1か月間が空くことになり・・・・ちょっと不安。

10/24日からは毎週の練習になるので、頑張りたいところです。

ほか、森劇通信2020秋号を参照ください。

◆◆ 山の風活動の良いところ仮説の共有事項 ◆◆

◆多分(^.^) DNAレベルで、音やリズムなどが身体と心に良いだろうと思います。

◆本番までに、自分のパートと仲間のパートとか、太鼓のリズムにのって舞などが行われるのを感じられると、舞台上で演奏しても良いものになると思われます(;・∀・)(`・ω・´)!

【子ども里山舞台表現教室】・・
(現状報告)

土曜日練習組は、7月末から練習に入っています。(＊日曜日組は、11月スタートです。)

面白いもので、当初予定していなかった場面が土曜日練習組から生まれ、その部分に焦点を当てることになりそうです。今 その年代を生きる子どもの発想！それは飾りがなく回りくどくなく(;▽;)愉快だ！！と感じました。(^◇^)いいね～。

【子ども里山卒業生サークル→GP (Graduation Project) とグループ名が決まりました。】・・・・・・・・
(現状報告)

芸術祭で、森劇 SHOP と 里山ポストを運営してくれます。

森劇通信に少し紹介しています。

◆◆ 微妙な年齢の自立活動をどう応援できるのか？共有希望 ◆◆

(9月末だったと思います。子ども達の雑談ミーティングの場において思ったこと。)

◆雑談のようなフニユフニユした会話の中から立ち上がってくる内容は、とても協力的で自然体でした。

↓
義務を負わない発想は平等と平和そのものと感じました。何かを課せられればこんなに浮遊できないんじゃないか？と思いました。

↓
素敵です。勉強と部活そこらでいっぱいいっぱいと思うのはもったいないなと思いました。

↓
できてもできなくてもよくて、継続できてもできなくてもよい、でも素敵なことなら応援したいと思いました。そしてある程度保護者との共有も必要だと思いました。

◆市民文化政策（特に教育）は、こういった子どもたち（当事者）の実体験の経過の中から出てくる意見や課題を拾う必要があると感じました。・・・本人たちに課題意識ない時に、意見聞いてもはじまらない！！

↓
こういった雑談から生まれる理想といった子どもたちの意見を大人たち（政治でも）は、子どもたちと一緒に社会に活用させていくべきなのじゃないか？と思いました。・・・何か・・・なにか。

【芸術祭ばんざいチーム】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第2（木）に集まって、何となく何とな〜く進んでいます。

周りの状況も見ながら何とな〜く(*^-^*)大切ですね。

お願い事項も含めて別紙で。

【山歩き発見クラブ・・・・・・・・・・・・・・(° o °)】・・・・・・・・・・・・・・・・

天候により、予定4回すべてが中止となりました。

なんだか 清々しくもありました。(^^♪

内藤徹隊長と、来年ですね〜と話しました。

改めてわかること＝潜在的な何か求めているものを探し続けることが、新しい文化を創造することになる。

- ・「感じ」「考え」「伝えていく」大人の外向きな意識の共有が大切＝誰かと何かをする。
- ・やり続けていないと・・・・多分鈍る（経済中心、効率重視、個人主義の濁流に吞まれる）
- ・継続！経過する時間を持った中で育った遊び心が、そうぞう力になるみたい。

3. 2,020 里山ばんざい芸術祭について

【内容】

チラシから各担当が説明

◆舞台◆

一年の振り返りに、禊に、来年どんな年にしようか？考えに、是非参加してほしい、創作劇場です。森劇メンバーの皆さんには、券を売るというより、紹介するという、創客の理想的な手売りをお願いしたい。

（注：口頭で説明してほしいこと。）

- ・前日の5日（土）、劇場で「ささやき合唱 ～ふるさと～」あるよ。フェイスシールドあり。
- ・参加券は、指定エリアあり、コロナ対策のため時間差入場の協力を願う。（絶対出はないヨ）
- ・コロナ対策のため、住所を記入してもらおう。同じ住所なら、名前欄に複数記名を。
- ・おいしい‘ふところ餅’の振る舞いがある。
- ・お金を先にもらった場合、自分の判を押す？
- ・素晴らしい、“能”が見ることができる。
- ・楽屋見舞い、面会できない。

◆竹の癒し空間 （中庭）◆ 当日10：00頃～開演前後（ ）（ ）？

- ・地元の達人の協力を得て、準備をスタートしています。
- ・今年感謝したいこと、来年の目標カードを飾れるようにしたい。皆さんヨソ♡
- ・5日（土） 中庭で作業しようかなあ〜、来館者が面白がって加わってくれたらいいなあ(*^^*)

◆活動ギャラリー◆ 当日10:00頃～開演前後担当()()?

- ・プロジェクトの活動紹介
- ・活動に協力いただいている、自然と共存する営みのある空間 : 鈴木牧場珠の牧
- ・活動に協力いただいている、地域の達人: 井谷功さん/笥晴さん/内藤徹さん/原林一廣さん

プロジェクトは、人間力の育成・再生に助力できる「地域家族」の役割を果たすことのできる地域(津市)づくりを目指していること。それはフィールドと受け入れる人と参加する人と結ぶ人が持ちつ持たれつでみんなが元気になる循環をつくっていきたいと思っていることを案内します。

また、地域に暮らす達人に、知識、知恵、能力、経験といったものを広く不特定多数の人に分けていただきたいということ、この「地域家族」という内容の周知と、協力の呼びかけをしたいと思います。

◆森劇SHOP/里山POST◆ . . . Graduation Project . . . 🍄🍄🍄

フニユフニユ・キラキラ☆と中学生が運営してくれますよ～。(^^^)/

◆受付◆ 本番中担当(海老原)(齋藤) 一人でもいいかな . . . ?

舞台表現クラブの保護者の方々に運営していただく予定です。(深田)

- ・検温/マスク着用確認/手指消毒の呼びかけ/予約券の引き渡し/パンフレット受け取り誘導/FC渡し案内
- *混雑時、竹空間担当者、ギャラリー担当者の応援

◆会場◆ *5日(土)伊藤さんより申し送り

13:00~14:00直前()()() . . . お客さんの誘導

14:00直前~終演まで()()()() . . . 非常時対応

◆ふところ餅◆ 当日終演後 ()

- ・おいしい番茶の準備
- ・ふところ餅の振る舞い (受け取り半券の確認)

◆打ち上げ 無理かな ◆

一応、上ノ村「村のレストラン」500円/一人で受けてもらえるが みんなでワイワイできないからナ、....。

ふっと思う。今年 何件か補助金申請をしてみて、「地域振興」といったものと「芸術振興」では求めているものが全然違う。 公的予算のあり方に似ている。 けれど、社会包摂がさらに重要度を増すこれからは、一体化されていく必要があるのではないか？

もしも、そういった分野の専門家が来場してもらえたら、打ち上げ兼ねてご意見をみんなでそしてライブで聞きたい、という意見に参加者からの賛同を得た。 ちょっと考えてみたい。

以上